

# 日本文藝學論究

## 第七十四冊

### 目次

【座談会】「國學院大學國文學會の万葉集研究一〇〇年」	城崎 陽子 (1)
國學院大學の万葉集研究一〇〇年	菊地 義裕 (10)
万葉集と万葉民俗学	大石 泰夫 (19)
國學院大學の万葉集研究の方法	大石 誠 (27)
初春講談、日本初「万葉集」全口語訳の由来、小田原の一夜	上野 (27)
――國學院大學國文學會百周年讃――	
曹丕と日本文学	辰巳 正明 (38)
大伴家持の防人関係長歌	神宮 咲希 (49)
――防人の情と為る歌の形成――	
大津皇子の歌と漢詩	大谷 歩 (59)
――「黄葉」と「葉錦」をめぐって――	
聖徳太子の片岡説話伝承	大塚千紗子 (70)
――「日本書紀」と「万葉集」における聖徳太子像をめぐって――	
【源氏物語】明石の入道の人物像	神原 勇介 (80)
――(ひがもの)という性質の再検討――	
【源氏物語】玉鬘巻と和歌リテラシ	小野 真樹 (92)
【狭衣物語】天照神の託宣をめぐって	太田美知子 (103)
森敦「われ逝くものごとく」論	山本 美紀 (112)
――発現するわたしと時間――	
國文學會通信	(123)
彙報	(124)
編集後記	(141)